

機密保護証明書管理 CUCM 11.x の拡張

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[証明書管理](#)

[古いバージョン](#)

[新しいバージョン](#)

[よく寄せられる質問 \(FAQ\)](#)

[確認](#)

[syslog](#)

[IPT プラットフォーム CertMgr ログ](#)

概要

この資料はバージョン 11.x で設定される Cisco Unified Communications Manager (CUCM) のための証明書管理でなされる進歩を記述したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CUCM

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- CUCM バージョン 11.5.1.10000-6

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

背景説明

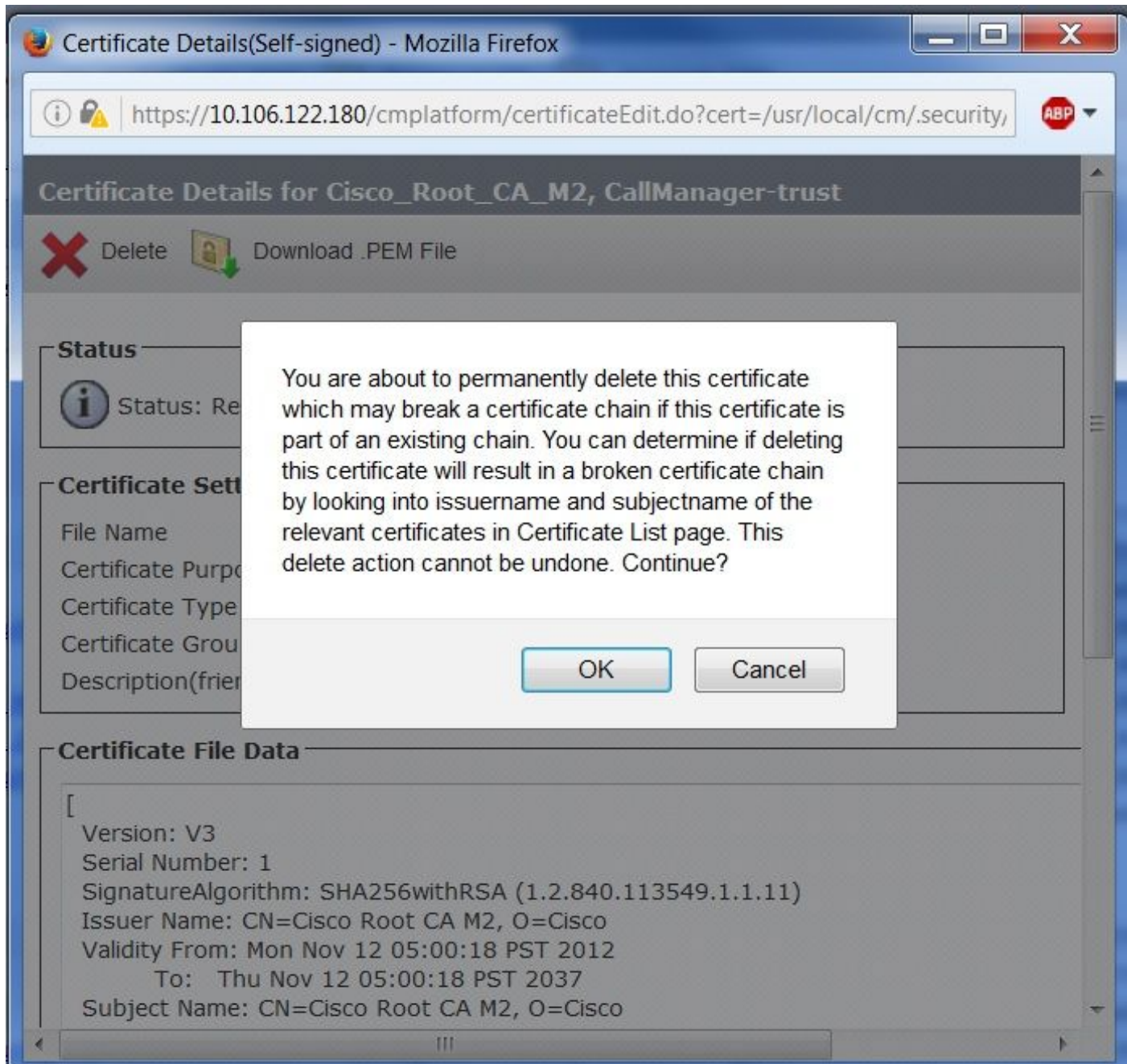
CUCM 証明書管理ヘルプ Unified Communication がセキュリティ管理者は advantagesmanage 認証をより効率的に奪取します。行われる CUCM および IM&Presence で期限の切れた認証の不

必要の削除の間に機能拡張の長所は減少させたひとときが含まれています。

証明書管理

古いバージョン

CUCM バージョン 11 前に、認証が削除される場合このメッセージが現れました。

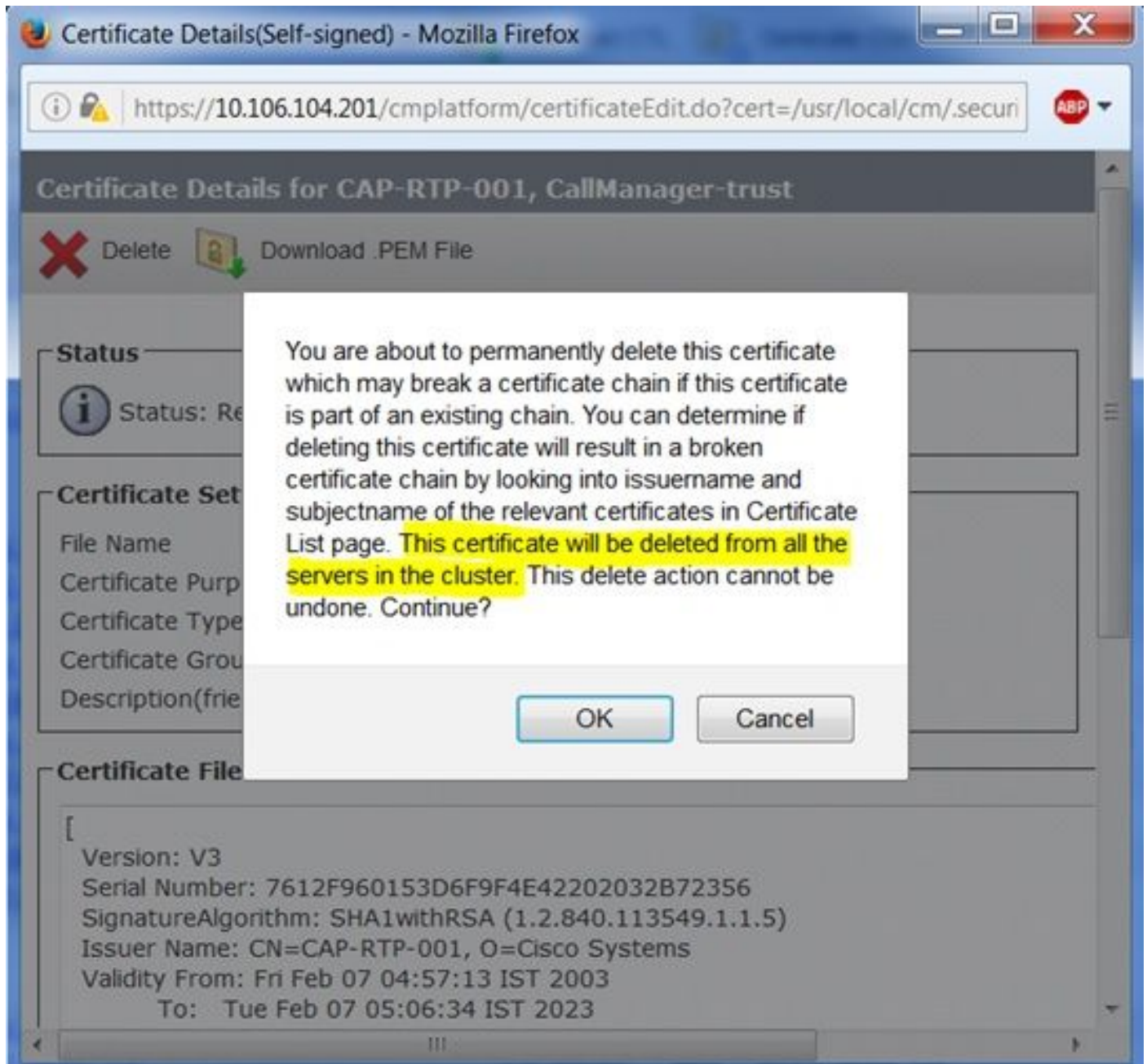


認証は削除オペレーションが開始するノードからだけ削除されます。

同じ認証が他のノードで削除されない場合、削除された認証は最初に削除されたノードで読み込まれます。これは Certificate 変更通知と問い合わせられる認証 監視サービスが原因です。CUCM のより古いバージョンの最良の方法として、認証 変更通知サービスは認証 削除の前のすべての CUCM ノードで停止します。より古いバージョンのもう一つの欠点は各ノードの OS 管理 セクションへログインへ要件大きいクラスタのために退屈、に時間のかかるように特になる期限の切れた認証削除するためです、か単一不必要を。

新しいバージョン

CUCM バージョン 11.0 または それ 以上で開始して、現在のノードから削除される期限の切れた認証またクラスタ内の他のすべてのノードからか不必要は削除されます。



機能拡張はこれらの問題を当てるために含まれていました:

[CSCto86463](#) -削除された認証は、CUCM から認証を削除することが不可能再現します

[CSCus28550](#) -すべてのノードから認証を削除する証明書管理機能 拡張

FAQ

Q. この機能拡張に含まれている認証の種類とは何か。

A. Cisco Unified Communications Manager に関しては:

- tomcat-trust
- callmanager-trust
- phone-sast-trust

Cisco Unified Communications Manager に関しては IM 及び存在:

- tomcat-trust

Q. この機能拡張のための後部で何が起こりますか。

A. 認証が CUCM ノードのどれでもで削除されるとすぐ:

- 認証はローカルノードから削除されます
- プラットフォーム イベントは他のすべてのノードに同じ認証の削除を引き起こします。

確認

認証があるかどうか認証がノードの OS 管理 ページ、他のノードへのログインおよびチェックによって削除されれば。削除された認証がすべてのノードから削除されない場合、認証 削除の例によって生成されるログをチェックして下さい。

- Syslog
- IPT プラットフォーム CertMgr ログ

公有地機能シナリオでは、これらは期待されたログです。

syslog

プラットフォーム イベントは他のノードで見られます (認証 削除が始められた) ノード以外。この例では、CUCMSUB1.pem と指名された Tomcat 信頼認証はサブスクリバの syslog でこれを displaying パブリッシャから削除されました。

```
Aug 6 20:20:47 CUCMSUB1 user 6 ilog_impl: Received request for platform-event (--no-wait
platform-event-clusterwide-certificate-delete HOSTNAME=CUCM-PUB UNIT=tomcat-trust
NAME=CUCMSUB1.pem)
```

IPT プラットフォーム CertMgr ログ

CertMgr ログでは、レコードは認証がデータベースエントリからの削除のためのキューにあることを確認します。

```
2016-08-06 21:22:06,151 INFO [main] - IN -- CertDBAction.java - deleteCertificateInDB(certInfo)
-
```

```
2016-08-06 21:22:06,151 INFO [main] -
```

```
DBParameters ...
```

```
PKID : null
```

```
CN : L=BGL,ST=Karnataka,CN=CUCMSUB1,OU=TAC,O=Cisco,C=IN
```

```
serialNo : 4d6dc0cb7bc73e70c3ded20690d15fa8
```

```
hostName : CUCMSUB1
```

```
issuerName : L=BGL,ST=Karnataka,CN=CUCMSUB1,OU=TAC,O=Cisco,C=IN
```

Certificate : Not Printing huge Certificate String..

IPV4Address : 10.106.99.196

IPV6Address :

TimeToLive : NULL

TkCertificateDistribution :1

UNIT : tomcat-trust

TYPE : trust-certs

ROLE : null

RoleMoniker : null

RoleEnum :null

SERVICE : null

ServiceMoniker : null

ServiceEnum :0

2016-08-06 21:22:06,151 INFO [main] - DB - Certifciate Store Plugin Handler is :com.cisco.ccm.certmgmt.db.CertDBImpl

2016-08-06 21:22:06,156 INFO [main] - IN -- CertDBImpl.java - deleteCertificate(certInfo) -
認証の削除のために引き起こされる SQL コマンドは CertMgr ログで見られる場合があります。

2016-08-06 21:22:08,980 DEBUG [main] - Delete query of CERTIFICATEPROCESSNODEMAP :DELETE FROM CERTIFICATEPROCESSNODEMAP WHERE FKCERTIFICATE="cdd0365a-2d17-3483-4d00-1bf08f942cf5" AND SERVERNAME = "CUCMSUB1"

2016-08-06 21:22:08,980 DEBUG [main] - execute(DELETE FROM CERTIFICATEPROCESSNODEMAP WHERE FKCERTIFICATE="cdd0365a-2d17-3483-4d00-1bf08f942cf5" AND SERVERNAME = "CUCMSUB1")

CertMgr ログから、エントリは認証がファイル システム (pem または der 拡張を用いる認証) から削除されることを確認します。

2016-08-06 21:22:09,009 DEBUG [main] - deleteDERandPEM: sCertDir = /usr/local/platform/.security/tomcat/trust-certs --- sAlias = CUCMSUB1

2016-08-06 21:22:09,009 INFO [main] - IN -- TomcatCertMgr.java - removeFromKeyStore(..) -

2016-08-06 21:22:09,010 INFO [main] - IN -- RSACryptoEngine.java - removeFromKeyStore(keystoreFile, keystorePass, alias) -

2016-08-06 21:22:09,010 INFO [main] - IN -- RSACryptoEngine.java - loadKeyStore(keystoreFile, keystorePass) -

2016-08-06 21:22:09,086 INFO [main] - OUT -- RSACryptoEngine.java - loadKeyStore -

2016-08-06 21:22:09,103 DEBUG [main] - Removing certificate from keystore : CUCMSUB1

認証 削除がクラスタのノードの他にそれでも反映されないかまたはログがエラーを示したら、CUCM チームが付いている TAC ケースをオープンすることを続行して下さい。